

名古屋市の「レジ袋有料化」の取り組み

容器・包装3R推進協議会
名古屋市

電話: 052-972-2398
Fax: 052-972-4133
E-mail:
a2378@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

「藤前干潟」と埋立計画区域



藤前干潟の埋立断念

なぜレジ袋削減か

平成13年5月

容器・包装3R推進協議会 発足

(目的)

- 容器・包装の3R(リデュース、リユース、リサイクル)を推進し、ごみの発生抑制やCO₂削減に資することにより、環境首都なごやを実現するため設置。

エコクーびょん開始

平成15年10月

市内共通還元制度「エコクーびょん」開始

(目的)

- レジ袋の削減運動の一環として、消費者が買い物袋を持参して、レジ袋を断る動機付けと実践行動を一層促進するため導入。



レジ袋削減の促進

しかし、「エコクーびょん」によるお断り率は12.2%

ライフスタイルやビジネススタイルを変えるには、

- 更なるレジ袋削減の方策が必要!

レジ袋の有料化



平成19年2月

3R協議会の部会でレジ袋有料化の方針を決定

(内容)

- 平成22年度以降、全市で有料化を実施し60%の削減を目指す。
- レジ袋排出量: 約7,000t 約4,200t
- CO₂排出量: 約40,000t 約24,000t

レジ袋有料化の取り組み

1つの区を対象に、地域が一体となって面的に
レジ袋有料化モデル事業を展開

- 6月 9日 レジ袋有料化シンポジウム
- 6月 18日 協議会で、モデル区を決定
- 7月 1日 有料化参加店の募集
- 9月 23日 事業者との協定
- 10月 1日 モデル事業スタート

実施体制と役割

(容器・包装3R推進協議会の役割)

モデル事業の実施、有料化による課題の抽出・効果検証

(事業者の役割)

レジ袋の有料化を実施、マイバッグ運動の推進

(消費者の役割)

レジ袋有料化店を買い支え、マイバッグ運動の推進

(行政の役割)

市民へのレジ袋有料化の周知・関心・理解の浸透

レジ袋有料化促進モデル事業の実施状況

店舗数... 24社 46店舗

価格... 各店舗 5円程度

【平成19年10月～9月の実績】

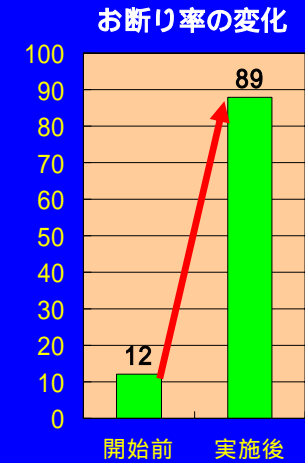
レジ袋お断り率... 89%

(参加店平均)

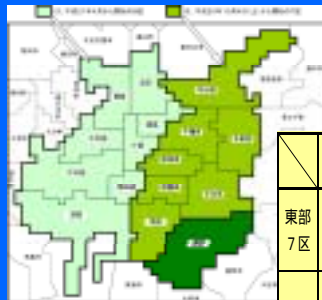
レジ袋削減枚数... 3,148万枚

レジ袋削減重量... 220トン

CO2削減量.....1,259トン



レジ袋有料化の拡大スケジュール



	スーパー マーケット	ドラッグ ストア	薬店・ 薬局	クリーニ ング店	大学内 生協等	酒 店	その他	合 計
東部 7区	39社	9社	1社	1社	5社	2社	1社	57社
	117店舗	62店舗	33店舗	256店舗	19店舗	59店舗	1店舗	547店舗
緑区	14社	6社	1社	1社	-	1社	2社	24社
	29店舗	14店舗	30店舗	11店舗	-	2店舗	2店舗	88店舗
合計	41社	9社	1社	1社	5社	2社	3社	61社
	146店舗	76店舗	63店舗	267店舗	19店舗	61店舗	3店舗	635店舗

東部7区レジ袋有料化参加状況